

# 思考力を鍛える

共通テスト  
国語(記述式) 公民

2020  
年度  
スタート

厳選

Lesson

20



- 「実用的文章」の本質が分かる
- 豊富なオリジナル文章例
- 複数テキストの読解法を伝授

サンプル

# はじめに

この問題集は「大学入学共通テスト」（2020年度開始）に向け、主に高校生（あるいは、それに続く中学生）や、指導される先生がたの一助となればいい、と願って編みました。しかし、「学習参考書として邪道ではないか?」。書名だけを見て、こんな印象を持った人もいることでしょう。

無理ありません。前例のない次の《1》《2》を、最大の特徴としているからです。

《1》「国語」「公民」という二つの教科を扱っている。

《2》それぞれの学習内容を網羅しているわけではなく、次の2点に特化した。

①「国語」で導入される「記述式問題」に備える。特に「表現力」の前提として、「実用的な文章」を中心とする複数のテキスト（文章やグラフ、表など）を横断的に読解する力を鍛える。

②「公民」で、従来にも増して問われる「思考力・判断力」の基礎を養う。

大きく変動する現代社会を生き抜くため、求められる力とは？ 共通テストの背後にある問題意識を見据えた結果、こんな装いになりました（2～5頁参照）。邪道どころか直球勝負なのです。

みなさんがこの本を「はじめの一歩」として力をつけ、入試という当面のハードルを乗り越えることを切に願います。その時は、テクニックにとどまらない「骨太な力」を手にはしているはずです。

## 目次

国語、公民共通	はじめに	1	この本のうち、公民 Lesson01～10は裏表紙の側から始まる構成になっています。ページ番号も、このページとは別の「1頁」から始まります。「この本の構成と使い方」もご覧ください。
	問われる力	2	
	この本の構成と使い方	6	
	ニュース時事能力検定(N検)とは	7	

国語

(表紙の側から)

公民

(裏表紙の側から)

Lesson 01	(基礎) どう変える 部活ルール	10
Lesson 02	(基礎) 解約できないって、本当?	12
Lesson 03	文化祭の案内標識、誰のため	14
Lesson 04	どこが違う 保険商品	18
Lesson 05	こんなのあり? 図書室ルール	22
Lesson 06	ごみ袋有料化 その効果は?	26
Lesson 07	そのバイト ブラックか?	30
Lesson 08	受動喫煙防ぐには	34
Lesson 09	公園は誰のもの?	38
Lesson 10	どこまで信じる 世論調査	42

Lesson 01	(基礎) これだけは グラフ読解のキモ	2
Lesson 02	(基礎) どうする? 東京一極集中	4
Lesson 03	(基礎) 変わる`大人`の線引き	6
Lesson 04	環境と経済 両立どうやって	8
Lesson 05	変わる日本人の食生活	12
Lesson 06	刑事手続きと人権	16
Lesson 07	政治と選挙制度を考える	20
Lesson 08	財政と消費税を考える	24
Lesson 09	「新しい人権」と終末期医療	28
Lesson 10	「夫婦の姓」望ましい制度は?	32

# つかんでおきたい「問われる力」

## 国語 (記述式)

まず、共通テストの「国語」記述式問題でどのような力が問われるか、見通しを明らかにします。その力が問われるのはなぜなのかも考えましょう。「何を」だけでなく「なぜ」問うのか（出題の意図）をつかまなければ、的確に答えることも、本番に向けて備えることも難しいからです。

### 《1》イメージしてみよう

想像力を少しだけ働かせて、次のような「物語」につき合ってください。

あなたが通う青空高校の修学旅行は、二年生の秋にある。行き先は毎年同じ「古都P」（P県）だが、三日目の「自主研修」の気持は根強い。比較的緩やかな「修学旅行の心得」（資料Ⅰ）さえ守れば、まる一日フリー。生徒たちは「青高の自由な校風」をここで満喫したうえで、高校生活最後の年を迎える。

ところが、今年の二年生にとって想定外のこと起きた。修学旅行に向け、学年独自の「自主ルール」（資料Ⅱ）を決めざるを得なくなったのだ。一年前の修学旅行で、一部の生徒が単独行動を取り、Q県（P県の隣）の飲食店で騒ぎを起こしたことが引き金だった。修学旅行を前に、あなたの班が自主研修の行き先を話し合っている。

#### 資料Ⅰ 修学旅行の心得（抜粋）

##### 《4》自主研修の心得

- ・班ごとに行動し、単独行動は慎む。
- ・他人に迷惑をかけない。
- ・文化財などに落書きしない。
- ・立ち入り禁止区域に入らない。

#### 資料Ⅱ

##### 二年生が独自に決めた自主ルール

- 1 自主研修の行き先はホテル（P県）から片道九十分以内とする。
- 2 ホテルへの帰着時刻（午後五時半）を厳守する。

#### 資料Ⅲ

##### 青空高校新聞 修学旅行特集号 三年生のお勧めスポット 二年連続で「P神社」

二年生の修学旅行を前に、新聞部は恒例の「お勧めスポット」アンケートを三年生に実施した。一位は「学問、恋愛の願いがかんう」と青高生の間で評判のP神社（P県）。二位は美しい庭園で知られるQ寺（Q県）だった。昨年の修学旅行を教訓に、今年の二年生は「自主ルール」を定めた。「学校に対応を委ねるより、生徒自らが襟を止すべきだ」という

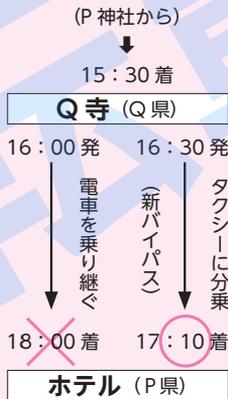
生徒会執行部の提案を受けた措置だ。生徒会長の小林アスカさんは「今年の二年生が一年生に範を示せば、自由な校風を守ることもつながる。自主研修で身勝手な単独行動を防ぐため、移動時もみんなで公共交通機関を使うなど、知恵を絞ってほしい」と呼びかけている。

ミュ 最近オープンしたばかりの「Rタワー」、行ってみようよ。

ヒサエ 私は青高新聞（資料Ⅲ）の「お勧めスポット」で一位のP神社に行きたい。P神社に行けるなら、RタワーもOKだよ。（異議なし）

ヒロシ もう一カ所行く時間はあるけれど、Q県にあるQ寺は無理だな。日程上、Q寺到着は午後三時半。Q寺からP県内のホテルまで電車を乗り継いで約二時間かかる。「自主ルール」に抵触してしまうよ。

ミュ 私の第一希望はQ寺。今を逃すと当分行けないよ。（全員うなずく）  
ナツコ あっ、いい手がある。Q、P両県を短時間で結ぶバイパス道路が開通したばかりなんだ。（次の図を描き、みんなに見せる）



あなた 名案だね。なぜなら、【 〇 】。しかし、【 〇 】点が単独行動の温床になると受けとめられないか、少し心配だな。

問題 あなたは「」でどのようなことを述べましたか。

正答例 名案だね。なぜなら、「みんなが望むQ寺に行っても帰着時刻を守れるし、電車を使うより三十分長く滞在できる」。しかし、「タクシーに分乗する」点が単独行動の温床になると受けとめられないか、少し心配だな。

さて、本題はむしろここからです。あなたは何を見聞きし、何を根拠にどう考えて発言を導きましたか？ 整理してみましよう。

- ▼みんなの発言を聞き、**青高新聞も読む**↓「Rタワーについては温度差がある。だが『お勧めスポット』のP神社、Q寺にはみんな行きたいようだ」
- ▼ヒロシの発言を受けて「**自ルール**」を読む↓「Q寺に行つて、電車を乗り継いでホテルに帰ると、①②の両方に抵触してしまう」
- ▼ナツコ案を見る↓「タクシーに分乗、新道で帰れば①②をクリアできる」
- ▼ナツコ案が校内で受け入れられるか吟味する↓「心得」が禁じる単独行動との関係で、青高新聞に載っていた生徒会長の発言が気にかかる」
- ▼自分が気になる点をみんなに伝え、一緒に考えてもらう

実はこうした受け答えを日ごろの社会生活においてできる力、それが国語の記述式問題で問われる力の一例です。そう言えるのはなぜか。以上の「物語」は二〇一七年十一月の試行調査（プレテスト）で示された記述式問題を基に、議論の場とテーマをより身近な「修学旅行の班」「自主研修の行き先」に置き換え、ほんの少し「味つけ」を変えたただだからです。

#### 〈問題例A〉部活ルールを巡る問題＝二〇一七年十一月のプレテスト

- 議論の場……生徒会部活動委員会の執行部会
- 議論のテーマ……生徒会部活動規約に則り、「部活動の終了時間」の延長を提案すべきか否か

●考慮すべき情報……生徒の要望▽他校の現状▽新聞部の記事（生徒の要望、生活指導担当の先生の意見）

●メインの出題……終了時間の延長について、肯定的な意見、慎重な意見を整理し、それぞれの根拠を含めて記述する（八十文字以上、百二十文字以内）

#### 《2》問題例の共通点を見抜く

問われる力を考える手がかりは、ほかにもあります。二〇一七年のプレテストに先立つ同年五月に公表された「記述式問題のモデル問題例」です。

- 〈問題例B〉市の景観保護ガイドラインを巡る「モデル問題例1」
  - 議論の場……かおるさんの家庭（立場が違う父と姉の意見交換）
  - 議論のテーマ……市が公表した景観保護ガイドラインが民家や看板にも伝統的建築物と調和した色彩などを求めていること是非
  - メインの問題……姉に賛成するかおるさんの立場に立つてマ姉の意見とガイドラインの一致点▽姉の意見を補う方法――を、それぞれの根拠を含めて記述する（八十文字以上、百二十文字以内）

#### 〈問題例C〉駐車場の使用契約を巡る「モデル問題例2」

- 議論の場……サユリさんと駐車場管理会社の応酬
- 議論のテーマ(例)……契約書に照らし、管理会社の主張は妥当か否か
- メインの問題……管理会社が「途中解約」を理由に一カ月分の料金支払いをサユリさんに求めてきた。しかし契約書の適用を誤っており、サユリさんは支払う必要がないということを、根拠を示して記述する（百二十文字以内）

問題例A～Cについて、新聞やテレビは「身近で実用的な文章が出題された」と報じました。その通りなのですが、「実用的な文章」は世の中に山ほどあります。新聞記事や広告、手紙もその一例です。これに対し、問題例A～Cが取り上げた「実用的な文章」の共通点は何でしょうか。それは、何らかの集団のルールを定めた規範的な文章だという点です（以下、「ルール文」と呼びます）。なぜ「記述式問題でルール文」なのでしょう。

### ③「問われる力」とは…

国語の記述式問題で予想される内容を、おさらいしましょう。

- ・「実用的な文章」と、関連する会話文（議論）やグラフ・表が示される。
- ・これら複数の「テキスト」を読み比べて▽求められる情報を取り出したり、特定の登場人物の立場に立って異なる二つの意見と根拠を考察したりさせる。
- ・以上の考察結果を、指定した条件に従って記述させる。

※テキスト…▽文章▽文章ではない情報（グラフや表）▽文を含む情報（例えば、世論調査の結果を伝えるグラフや表——などの総称です）。

### ①社会参画の基礎体力を養う「ルール文」

「先行きの不透明な時代であるからこそ、多様な人々と協力しながら主体性を持つて人生を切り開いていく力が重要になる」「問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質や能力が重要になる」。大学入試を含む教育改革を議論した文部科学省の有識者会議の報告書（二〇一六年）の一節です。これが、共通テストの背後にある問題意識です。

人は一人では生きていきません。人々が関わり合って生きる場が社会です。家庭、学校、地域、国、世界……。社会にルールは欠かせません。しかし、多様な人々が納得するルールの制定・改正には、合意形成に向けた粘り強いやりとりが必要です。ルールの解釈・運用を巡って見解の相違が生じることもあります。一方、高校学習指導要領（二〇〇九年告示）の国語の解説書は「実用的な文章」を読んで話し合う活動を「社会における様々な活動に参画する基礎」と位置づけています。問題例A・Cを踏まえると、国語の記述式問題の出題の意図は、次のように分析できます。不透明な時代に多様な人々と協働して課題に取り組み、その前提となる**社会参画の基礎体力**を測るため、ルール文は格好の題材である――。

### ②複数テキストの読解

複数テキストの読解力を問う傾向も一過性で終わることはないでしょう。高校の新指導要領（二〇二二年春入学の高校生から実施）で共通必修科目となる「現代の国語」は、論理的、実用的な文章や図表に含まれる複数の情報を関係づけて書き手の意図を解釈したり、自分の考えを深めたりする力を養う科目だから

からです。

### ③どのように備えるか

国語の記述式にどう備えるか。学校の授業にきちんと取り組むのはもちろん、次のようなトレーニングを日ごろ心がけてはいかがでしょうか。

- ・分析……テキストから得られる情報、得られない情報を仕分けする。
- ・推論……相手の意見（結論）だけでなく、その根拠を常に意識する。
- ・統合……「あの文章とこのグラフに含まれる情報を組み合わせると、一つの意見を導けるかもしれない」と考えるくせをつける。

・構想……「事実」しか含んでいないかのように見えるテキストでも「何らかの主張を導く手がかりになるのではないか」と想像してみる。

この本は**表現力の前提**であるこうした働き（広い意味の**読解力**）に軸足を置きました。表現力をあなどっているのでは毛頭ありません。ただし、「何が問われているか」を理解できなければ、記述しようがありません。この本で読解力に磨きをかければ、記述力のトレーニングもスムーズに進むはずですよ。

### ④共通テストは試行の途上

この本は二〇一七年のプレテストなどの分析を通じて出題の意図をつかみ、これを基に、豊富なオリジナル文も用意しました。ただ第一回の共通テストは二〇二一年一月の予定で、まだ一度も実施されていません（二〇一八年十月末現在）。二〇一八年十一月にもプレテストが予定されるなど準備の途上です。左の表を見てください。これまでの試行で使われた「実用的な文章」がルール文であるのは事実ですが、ルールの適用範囲は異なり、登場人物の関係も「正当性を競い合う」「協働して合意形成を目指す」とまちまちです。

今後、新たな出題形式が試みられる可能性もあります。アンテナを高く張って、最新情報の入手も心がけましょう。

公表順 (右から)		ルールの性格		ルールを巡る議論の性格		
問題例A	問題例C	適用範囲	当事者	議論の場	議論の内容	参加者の関係
問題例A	問題例C	特定の高校内	生徒・学校	生徒会の委員会	規定・運用の見直し	協働
		国内	個人・企業	電話など	規定の解釈・運用	攻撃・防御
		城見市内全域	市民・市	市民の家庭内	内容の是非	競争

# 公民 (現代社会)

「国語」の記述式とは違って、共通テストにおける「公民」の具体的な出題内容を推し測る手がかりは、二〇一七年十一月のプレテスト（現代社会）に限られます（二〇一八年十月末現在）。ただ、このプレテストに示された範囲内でも、従来の大学入試センター試験との明らかな違いを読み取ることはできます。

## 《1》現実社会を多角的に考察する

私たちが生きている現実の社会におけるできごとや制度を多角的に考察する視点が、前面に出てきました。センター試験では目立たなかった傾向です。

エンゲル係数（家計の消費支出に占める食料費の割合）の推移を巡る問題が典型例です。下がり続けてきたエンゲル係数がここ数年、上昇傾向にある背景や原因は何か。例えば「生活が苦しくなってきた」という生徒Aの仮説を確かめるには、どのようなデータが必要なのかが問われました。

成年年齢（成人年齢）引き下げを巡る議論を民法改正（二〇一八年六月）に先立って取り上げた問題や、裁判員制度の是非を巡る問題も、目を引きました。

## 《2》他者の立場を公正に判断する

賛否が割れる問題で人の立場を単なる印象で決めつけるのは禁物です。イメージだけで他者に「レッテル」を貼ることは、建設的な議論の障壁にしかなりません。裁判員制度の是非を巡る問題では、人が自分の意見の支えとして語った「根拠」からその「立場（結論）」を公正に判断する力が問われました。

例えば、「裁判内容に社会常識がよりよく反映される」ことなどを理由に制度への「賛成」を明言した学生Aに続き、学生Bは賛否を明言せずに「裁判官も他の人々と同様に常識があると思います」と語ります。「プロの裁判官による裁判は市民感覚とかけ離れがちだといった指摘が、制度導入の背景になった」という知識・理解や前後の文脈を踏まえれば、学生Bは制度に否定的な立場だと判断できます。

## 《3》理論を現実社会の考察に活用する

《1》とは別の切り口で現実社会にアプローチする観点も目を引きました。「功利主義」と「正義論」の考え方をそれぞれ示す文章を読んで、現実の制度や政策と（前者を多数決の原理、後者を累進課税と）関連づけさせる問題です。

## 《4》筋道立てて考える

筋道立てて考察する姿勢は随所で問われています。社会的事象に関する推論（Xである（前提）。それゆえにYである（結論）という思考形式）が妥当か否かを判断させる問題が典型例です。この場合、「Xである」という命題は「真」である——という前提に立って考えます。この点をきちんと理解していないと迷路にはまり込んでしまうので、注意が必要です。

一方、成年年齢引き下げを巡る問題では、複数のテキスト（主にグラフ）の中から引き下げへの賛否に関連するものを選んだうえで、「前提→理由→主張（結論）」という思考形式に当てはめる思考力が問われました。

## 《5》どのように備えるか

もしも二〇一七年のプレテストのような出題傾向が続くとすれば、いかに多くの知識を蓄えたかが力を握るような問題は影を潜めるでしょう。「常に考えること」が最大の備えになります。「学校で学んだ概念・理論は現実の社会とどう関係するのか」「社会的事象に関するその主張は、その前提から本当に導けるのか」などと絶えず考えるくせをつけましょう。

本番の問題でも、二〇一七年のプレテストと同じくらいリアルタイムに社会的事象が取り上げられるのは即断できません。ただ、社会的事象を巡る多様な見方・考え方にふれ、思考力・判断力を養う、生きた教材」として、新聞に日ごろ目を通す習慣をつけることをお勧めします。

# こんなのあり？ 図書室ルール

●多様な意見の相違点、共通点を整理する (問4)



Q

ミオさんが通う青竹高校では、生徒会が週一回、全校生徒に向けた「ニュース」を校内放送で流している。最近、図書室の利用ルール改革案を紹介し(資料Ⅰ)、論議になった。これに関連する〈シーン1〉〈シーン2〉の会話文と資料Ⅰを読み、問1〜4に答えよ。青竹高校では一定の手続きを踏めば、資料Ⅰの延滞金を導入できる可能性があるかと仮定する。

〈シーン1〉図書委員のミオさんは、延滞金への賛否を級友たちに尋ねた。

ミオ 委員会での議論の参考にしたいので、みんなの意見を教えてください。

カナエ レンタルDVDでもあるまいし、どうして図書室の本を借りてお金を払わなくちゃいけないの？ 理解に苦しむな。

ケン いや、返却期限を守れば済む話だよ。借りたい本が返却されなくて困ったことが何度もある。延滞金は行き過ぎだが、それでもルール違反を減らすため何らかの対策は必要だ。

シユン たかが百円。図書委員が期待するほどの効果はないと思う。それどころか、導入するとかえって(ア)モラルハザードが起きるかもしれない。延滞金が「免罪符」にされかねないからね。

マミ されど百円。「お金がないなら本を借りるな」と言っているよ。うなものだよ。生徒の誰もが気軽に利用できる点に学校の図書室の存在意義があるのに、それを台なしにする提案は容認できない。

## 資料Ⅰ 図書室の利用ルールに関する生徒会ニュース

みなさん、こんにちは。今週も生徒会ニュース「みんなの青高」をお届けします。

【 A 】

図書室で借りた本を期限までに返さない生徒に、ペナルティーの延滞金を科す案が、図書委員会で検討されています。9日の定例委員会で提案されました。延滞冊数が増える傾向にあるためです。

委員会によると、2018年度上半期(4~9月)に貸し出された本は1157冊です。このうち期限までに返されなかった本は106冊で、全体の約1割に上ります。1年前の同じ時期に延滞された45冊から、2.4倍に増えました。

このため、一部の委員が延滞金制度の導入を提案しました。具体的には、本1冊を1日延滞するごとに100円、そ

の生徒に請求します。例えば、3冊を期限から2日過ぎて返すと、600円払わなくてはなりません。延滞金を払わない人は、新たに本を借りられない仕組みにします。

提案した委員の一人は「図書室の本は生徒みんなのもの。それを延滞して他の生徒が読めないようにするのは、独り占めと同じだ。こんな手段は不本意だが、図書室の利用モラルが下がっている以上、やむを得ない」と話しました。別の委員は「恒久的なルールにするつもりはない。あくまで一時的措置なので、生徒のみなさんは理解してほしい」と話しています。

図書委員会は生徒会本部などと検討を進め、早ければ年明けにも延滞金制度が導入される可能性があります。

〈シーン2〉ミオさんは、クラスで聞き取った意見を委員会で報告した。

ミオ (冒体例を紹介したうえで) 大まかに言えば、賛成が約3割、反対が9割超でした。分らないという声も2割弱ありました。

オサム ありがとう。他のクラスもおおむね同じ傾向でした。やはり「延滞金の導入」はあまりに大胆で、多数の同意は得られないようです。

ナツオ 不評は織り込み済みです。何でも多数意見に従えばいいとは思いません。たとえ不評でも実行すべき改革はあるはずですよ。

先「先に借りた生徒の延滞によって迷惑している」という苦情が頻繁に寄せられているのです。図書室の本は全校生徒の貴重な財産。それを私物化する悪質な利用者には、毅然とした態度





## 解法のカギと正解・正答例

● **パースペクティブ** ……  
 よりよいルールを模索して

学校に通うみなさんにとって身近な決まりごとの一つ「学校のルール」を題材にしています。課題の解決に向け、さまざまなお見解を持つ生徒たちに納得してもらいやすいルールを模索する過程を舞台に、「多様な見解を整理する」力や「入手した情報を意見形成に役立てる」力が問われています。

● **アプローチ** ……

**問1** 見出しには、記事の核心を端的に伝え、「記事を最後まで聞く（読む）かどうか」の判断材料を受け手（視聴者や読者）に提供する役割があります。そのため、記事のキーワードを厳選し、短い言葉で表現しなくてはなりません。

**〔正答例〕** 図書室の本に「延滞金」を検討（14字）

本の借りっぱなし、お金取ります（15字）

**問2** 比喩的表現を文脈に沿って理解し、的確に説明する力が求められます。

シユンさんの主張は①たった百円の延滞金では、延滞を防ぐ効果は薄い②むしろ延滞金が「免罪符」とされ、モラルハザードを招きかねない——の二点です。このうち、説明を求められているのは②です。「延滞金さえ払えば許される」というポイントを押さえたうえで、「かえって事故の可能性が高まる」というモラルハザードのニュアンスを生かせるかが、カギを握ります。

**〔正答例〕** 「延滞金さえ払えば許される」という安易な考えが広まり、かえって延滞が増えること。（40字）

**問3** 求められているのは、「会話文」「資料1」という別個のテキストに散らばった情報を丹念に拾い上げて突き合わせ、ナツオさんの主張を根拠づけるデータを得ることです。その力を客観的に測る手段として、グラフの補完作業（グラフ

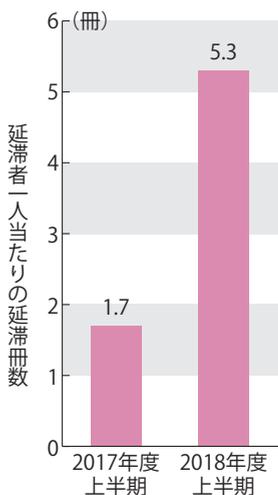
作成の代わり）という問題形式としました。数学の問題のように見えますが、正答を導く決め手となるのは国語の力です。

まず、「B」を含むナツオさんの主張をつかみましょう。前後のユミコさんの発言と突き合わせると、ナツオさんは「B」で、「延滞者一人当たりの延滞冊数が増えた」ことを「事態の悪化」であると指摘したと推論できます。テキスト全体を改めて俯瞰すれば、「B」を裏づけるデータは確かに、ユミコさんの発言（延滞者数の推移データ）と資料1（延滞冊数の推移データ）から引き出せます。左上の表にまとめました。そこまでたどりつけば、正答を導きます（参考までに、グラフの完成品も左に添えました）。

**〔正答例〕** P＝延滞者一人当たりの延滞冊数（13字） a（1） e（5）

（参考）

	2017年度 上半期	2018年度 上半期
延滞冊数	45冊	106冊
延滞者数	27人	20人
延滞者1人 当たりの延 滞冊数	1.7冊	5.3冊



**問4** ミオさんが級友の見解・指摘を代案にどう反映させたのかを分析する問題です。ケンさんは「延滞金には賛同しないが、延滞を減らす対策は必要」、マミさんは「延滞を防ぐためであっても」気軽に利用できるといふ図書室の存在意義を損なってはいけない」という立場です。これらを代案と突き合わせます。

**〔正答例〕**

ケンさん…借った本を返却しなければ利用者にお金が戻らない仕組みにするこ  
 とで、延滞を緩やかにけん制する効果を見込めるようにした。（58字）  
 マミさん…借った本を返却さえすればお金が戻る仕組みにすることで、気軽に  
 利用できる図書室の意義を損なうことがないようにした。（57字）

解法のカギと正解・正答例

●パースペクティブ

社会的な事象を複眼的に考察する

日本人の主食である米の1人当たりの消費量は、1960年代から一貫して減り続けています。一方、家計の消費支出総額に占める食費の割合（エンゲル係

数）は近年、上昇傾向にあります。

こうした社会的な事象の背景や要因を複数の資料に即して考察する力、つまり「現実を多角的に考察、検証する」力が試される問題です。

●アプローチ

**問1** 米（食用米）への支出額が減っている一因は「女性の働き方や家事の位置づけの変化」にあるというワタルさんの見立て（仮説）を検証するため、どのような資料が役立つかを考えます。

**正解は②** ワタルさんは【A】を含む発言に続いて、

炊くのに時間がかかる米は「忙しい女性たち」に敬遠されているのかもしれないと、自分の仮説を言い換えています。これを裏づけ得るデータは例えば、共働き世帯数の推移のほか、家庭内で調理にかかる時間（が短くなってきたことを示すデータ）です。

**問2** 「米の消費量や消費支出の減少＝米離れ」という一面的な見方にとどまらず、別の視点も加えて複眼的な考察に立ち会うことが求められています。そのために必要なのは「多様な見解を整理して示す」力や「統合する」力です。

米の消費には「家庭用に米を買う」「米を使った調理食品を買う」という少なくとも二つの側面がある——という俯瞰図を、会話文を基にして描き出せるかど

うかが、最大のポイントです。

①家庭で炊く米への支出額は（以前から）減っている②米を使った調理食品への支出額は（近年）増えている——という両面を統合し、設問の条件である「変化」として説明します。

**（正答例）** 家庭における調理から、調理食品の購入へと移ってきた（25字） / これまでの内食から、中食へと変わってきた（20字）

**問3** 社会的な事象をとらえるための概念を活用して、「筋道立てて推論する」力が問われます。

**正解は③** 調理食品への支出の増加という事象について、ケントさんはアミさん、ワタルさんの2人とは異なる視点から考察を試みています。分析の対象は、「世帯主の年代」別のデータを示す資料Ⅱであることはすぐ分かります。

そのうえで、< 1 分析の前提 >で示された概念の

意味を理解し、資料Ⅱの読解に活用できるかどうか、カギを握ります。

①米と生鮮食品の支出割合の下落幅を4種類の世帯ごとに比べれば、米の割合が下がる相対的な勢いは、世帯主が「65歳以上」→「30歳代」→「40歳代」→「50歳代」の順に強いです。②下落幅が最も大きいのは「50歳代」です。④上昇幅が最も大きいのは「50歳代」です。

**問4** エンゲル係数の推移を巡り、視点の異なる考察を読み解きながら、設問に向かいましょう。

分析の対象は、共働き世帯に関連するデータを含む資料Ⅳだと分かります。そのうえで、ワタルさんは「確かに」に続く【C】でアミさんに有利なデータを示す一方、「しかし」に続く【D】で不利なデータを示している——とつかめるかどうか、最大のポイン

トです。【C】は「食費に占める」という書き出しがヒント。【D】はストレートなデータが資料Ⅳに含まれています。

**【C】（正答例）** 消費支出に占める外食の割合は、共働き世帯のほうが高い。（27字）

**【D】（正答例）** エンゲル係数は「夫のみ有業の世帯」のほうが高い。（24字）





## Lesson 05 変わる日本人の食生活

●社会的事象の原因と結果を考察する（問2）



**Q** 日本人の食生活は戦後、「何を」「どこから調達し」「どのようにして」「どこで」食べるか——などを巡り、変化してきた。複数の経済的、社会的変化が背景にあると考えられる。これに関連する学生たちの<シーン1><シーン2>における会話文と資料Ⅰ～Ⅳを読み、問1～4に答えよ。

<シーン1> アミさん、ワタルさんが、資料Ⅰを見ながら話し合っている。

**アミ** 日本ではここ半世紀以上、米の消費量が減り続けているんだって。家計調査（2人以上の世帯）の1人当たり年間消費支出でも、米への支出額は大幅に減っていて、パン類（食パンや菓子パン、調理パンなど）への支出額のほうが多い。ごはんが好きな人が減っているのかな？

**ワタル** 食生活の欧米化は、米への支出額が減っている理由の一つだと言われている。でも、理由はほかにもあるかもしれない。共働き世帯数の推移や【 A 】の推移を調べれば、女性の働き方や家事の位置づけの変化が分かるはずだ。例えば同じ主食でも、パンは買ってすぐ食べられるけれど、ごはんを炊くのは時間がかかる。だから、米は忙しい女性たちに敬遠されているのかもしれないね。

**アミ** それはあり得る。共働き世帯はいまや「夫婦がいる世帯」（高齢者世帯などを除く）全体の約6割に上るって聞いたことがある。食料のうちどの費目に多くのお金を使っているのかを「夫のみ有業（会社勤めや自営など）の世帯」と比べると、「外食」「調理食品<sup>\*</sup>」の割合は共働き世帯のほうが高く、「生鮮食品」は「夫のみ有業の世帯」のほうが高いことが分かる。これは、共働き世帯の家事時間が限られていることの表れだとみてもよさそうだね。

**ワタル** ただ、別の視点から考える必要もありそうだよ。調理食品は「主食的」と「それ以外」に分類される。主食的調理食品のうち、米を使ったもの（弁当やすし、おにぎりなど）への支出額は、1970年の約3倍に増えている。これに家庭で調理する米への支出額を加えると、パン類への支出額の約1.6倍に上るんだ。

**アミ** つまり、「米そのものが嫌われている」というよりも、米の食べ方の比重が【 B 】面があると考えたほうがよさそうだ、ということね。

**ワタル** うん。だとすれば、米にもまだ活路がありそうだ。共働き世帯の増加傾向などを背景に、中食産業はこれからも広がっていきそうだからね。

<sup>\*</sup>調理食品……コンビニやスーパーで売っている弁当や総菜が代表例。また、店で買った調理食品を家庭や職場に持ち帰って食べることを「中食」という。レストランなどで食べる「外食」と、自分たちで調理した料理を家庭で食べる「内食」との中間に位置する食べ方を意味する造語である。

2020年度スタート

# 大学入学共通テスト 対策に この1冊!

小論文・面接対策にも!

「共通テスト」で問われる

「思考力・判断力・表現力」を養う六つのポイント



複数のテキスト\*同士の関連性(原因と結果、根拠と主張など)を論理的に考察する



「一つのテキスト\*内の複数情報」や「複数のテキスト\*」を比較・分析し、一つの情報にまとめ上げる



自分の知識や経験も踏まえ、テキスト\*にない情報(登場人物の立場を補強する意見など)を考える



思考・判断(推論、統合など)で得た情報を、条件に応じて表現・構成を工夫して他者に伝える



一つのテキスト\*から目的に応じた情報を取り出す(例えばグラフの読解)。「技能」に属する



思考力・判断力・表現力の基礎となる知識・理解

\*テキスト…▽文章▽文章ではない情報(グラフや表)▽文を含む情報(例えば、世論調査の結果を伝えるグラフや表) ———— などの総称

思考力を鍛える 共通テスト 国語(記述式)・公民

2018年11月16日(金)発売 ISBN:978-4-620-90739-0 定価:本体680円(税別)

お問い合わせ

発行:(株)毎日教育総合研究所

TEL 03-3212-1406